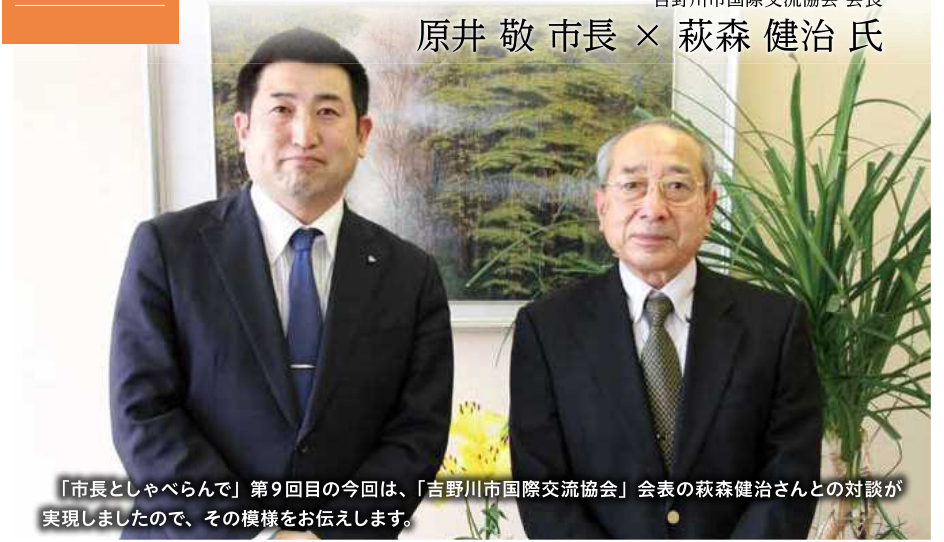


市長としゃべらんで

吉野川市国際交流協会 会長

原井 敬 市長 × 萩森 健治 氏

トーク 企画



「市長としゃべらんで」第9回目の今回は、「吉野川市国際交流協会」会長の萩森健治さんとの対談が実現しましたので、その模様をお伝えします。

国際交流協会とは

市長 本日はお忙しい中、ありがとうございます。早速ですが、萩森さんのプロフィールや国際交流協会に関わるようになったきっかけを、お話いただけたらと思います。

萩森 はい。私は大阪の八尾市出身で妻が鴨島町の出身です。小学校4年の時に父親の転勤で兵庫県の西宮市に移りました。大学院を卒業して建設会社に入り、おもにトンネル工事の技術職として36年間働きました。2008年に定年退職して吉野川市に移住しました。

市長 吉野川市に来ることは決めていたんですか？

萩森 はい、退職する前からこちらに家を建てていて、家族はこっちに住んでいましたので。私は東京や大阪で単身赴任をしていました。退職を機にこちらに帰って来て、いろいろと活動するようになりました。

市長 国際交流協会に入ったきっかけは何だったんでしょうか？

萩森 退職して、好きなことができなかったのですが、こっちの出身じゃないずっと単身赴任でしたからこっちに全然友達がいなかったんです。だから退職したもののすることがない。行くところもない。何かすること、友達を作らないといけ

ないと思い、いろいろなサークルに顔を出しました。その一つが国際交流協会、それと野鳥の会、空海の道、さくら診療所の吉田先生が代表理事を務めるTICO（徳島で国際協力を考える会）にも顔を出しました。そういった経緯で国際交流協会に入りました。私は大学院の時に鉱山の研修でアフリカのコンゴに1年間滞在していましたし、退職した年にはODA（政府開発援助）の民間モニターで視察団の副団長としてケニアを訪問しました。そういう経緯もあって外国人との交流はまったく違和感がない、むしろ楽しいなということでも入りました。

市長 国際交流協会の会長をされてから長いんですね。

萩森 そうですね。今年で8年目になります。余談になりますが実は私、会社ではあまり出世しなかったんです。辞表を4回出したかな。定年までいきましたがいつも辞めたいと思っていて、ところが国際交流協会ではとんとん拍子に出世しました（笑）。

市長 この間、国際交流協会主催の日本語教室に参加させてもらったときに和気あいあいと思えなくて参加できる雰囲気だなと感じました。何よりも萩森さんが楽しそうに運営されていて、そういった雰囲気が教室の中に伝わっていますね。日本語の勉強というところで、ある意味ストイック

クなイメージがあったのですが楽しく学ぶという感じですね。

萩森 国際交流協会は市内在住の外国人と交流するというのが主な目的です。

それから活動の柱が大きく三つあります。一つ目は市民の国際化を支援しようといういろいろな講座を開催しています。二つ目は在留外国人の支援で主に日本語教室でサポートをしています。三つ目は市民と外国人が交流を通じて多文化を尊重しながら

共生できる社会の構築です。現在は70人程で活動しています

が、コロナ禍であることや高齢化の影響もあり会員数が少し減ってきてなかなか難しいです。

市長 基本的にボランティアですよね。

萩森 そうなんです。ボランティアです。会員の年会費と、市や県からの助成金でなんとかやりくりできています。

国際交流協会は、1992年に設立して今年で30周年になります。日本語教室も同じ年に開設しました。特に日本語教室は徳島県内で初めて開設したのが当時の鴨島町で県内では一番歴史があるんです。

原井 敬 市長



萩森 健治 氏
吉野川市国際交流協会 会長

萩森 はい。山川教室を作る前は鴨島教室に山川からも来るし対岸の阿波町からも、それから美馬市からも来てたんです。それで、西の方にもニーズがあるということで、山川にも作ろうということで始めました。いろんな交流イベントもやっています。

市長 吉野川市では400人くらいの外国人の方がいて、市民の人口比率でいうと1%くらいになるんです。

よね。今コロナ禍で大変ですが、ほとんどの方が技能実習生ですか？

萩森 70%くらいの方が技能実習生と特定活動の方で、定住者は少ないですね。留学生もほとんどいないと思います。

市長 この前、日本語教室を見学させてもらったときに参加していた人の人はインドネシアとベトナムと中国とモンゴル。最近はベトナムの方が多いんですね。

萩森 今年1月末の外国人比率なんですけど、今年が中国が一番多いです。次いでベトナム、インドネシア、フィリピン、ミャンマーですね。去年は1位がベトナム、2位が中国でした。今まで過去15年ほどの平均は全体

の人数が390~400人くらいで一番多いときは440人くらいいました。去年が415人、今年は375人と減っています。

市長 新型コロナウィルスの影響など、その時々のご時世で左右されるんですね。

萩森 そうですね。吉野川市の外国人の人口比率を見ても国際情勢は影響していると思いますが、フィリピンの方は常に40人程で推移しているんです。日系の方が多いで定住者が多いからあまり変動がないようです。

市長 なるほど。また最近では労働者不足といえますか若い働き手を確保

楽しいから続けられる

するのがどこの企業も大変なので、やはり外国人の労働力というのは地域経済に貢献してくれていますね。

萩森 はい。吉野川市でも縫製業とか食品加工、建設、介護などの分野で貢献してくれています。

市長 萩森さんがボランティアで講師を務める中で印象的だったのが自分自身も外国の方から元気をいただいているとおっしゃっていたことです。異文化交流ももちろんですが若

